一般社団法人 福岡音楽大学設立の会

第6回 バリアフリー X'masコンサート

Barrier-free X'mas Concert

2020.12.6.〈Sun〉

14：00 開演
［13：30 開場］

入場 ご招待のみ

電気ビル共創館みらいホール 【TEL】0120-222-084

主　催：一般社団法人福岡音楽大学設立の会
協　力：春日交響楽団、福岡国際オペラフェスティヴァル
問合せ：092 - 935 - 8621(事務局)

曲目

- ショパン：ピアノ協奏曲第1番3楽章
- ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲
- ヴェルディ：歌劇「ドン・カルロ」アリア"むごい運命"
  歌劇「トロヴァトーレ」二重唱"夜明けには～この涙をご覧下さい"
- クリスマスソング　聖夜、星の世界
- 楽器紹介、指揮体験コーナー

※曲目は変更されることがあります。

一般社団法人福岡音楽大学設立の会の活動

「もし福岡に音大があれば・・・」。音楽を学ぶ多くの子供や中・高校生が、音楽家への道を志しながら断念している状況が、ここ福岡で何十年も続いています。

そこで私たちは、平成26年に「今こそ福岡に音楽大学を！」を合言葉に音楽大学設置を目標に活動してきました。同時に、音楽のすそ野を広げる活動の一環として、どなたでもクラシック音楽を楽しむことのできる「バリアフリー Xmasコンサート」を毎年開催してまいりました。芸術音楽の素晴らしさに触れていただき、ご一緒に音楽大学の必要性を考えていただけたらと考えています。

〈出演者プロフィール〉

◆ YUTAKA KATO　加藤 豊（指揮）

愛知県出身。愛知県立芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了後、ドイツ国立ミュンヘン音楽大学作曲科に入学。作曲を故石井歓、中田直宏、故W. キルマイヤー、W. リーム、 指揮を故佐藤功太郎各氏に師事。1980 年ミュンヘン市主催「若い作曲家のためのコンクール」に作品が入選。1995 年長崎市「復活コンサート（小澤征爾指揮）」の合唱指揮を担当。1995 年から 2016 年にわたり、 佐世保市民管弦楽団定期演奏会を 12 回指揮。2001 年より数回、鳥栖こどもコンクール受賞記念コンサートにおいて受賞者のピアノ協奏曲の指揮を担当、共演は福岡室内合奏団。2002 年全国豊かな海づくり大会にて、天皇皇后両陛下御入退場のための『祝典行進曲』を作曲。佐世保市民管弦楽団により御前演奏を指揮。2003 年活水女子大学音楽学部定期演奏会のために作曲された女声合唱曲『海坂（うなさか）』が出版される。2004 年『マダムバタフライ国際コンクール in 長崎』本選会のオーケストラ指揮を担当。2019 年佐世保文化マンスにおいて、ベートーヴェン作曲 交響曲第 9 番『合唱つき』（全曲）、團伊玖磨作曲『西海讃歌』を指揮。その後も毎年、合唱作品などの委嘱を受け、作曲、指揮活動をしている。現在、活水女子大学名誉教授。

◆ AZUMI SHUDOU　首藤 あずみ（ピアノ）

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。

幼少期より様々なコンクールにてグランプリなどの受賞歴を持つ。

高校、大学在学中の 2006、2007、2010 年にチェコプラハサマーアカデミー参加しファイナルコンサートに最優秀成績者として出演、ディプロマを取得する。

大学卒業の年に渡欧し、チェコ・プラハ音楽院にて学ぶ。在学中にショパン国際ピアノコンペティション（チェコ）入賞、学内選抜メンバーとしてプラハを始めチェコ各地でソロや室内楽のコンサートに出演。

創作オペラ初演オーケストラメンバーとして〈プラハの春音楽祭〉など各地で演奏。チェコ・日本人学校にて特別音楽授業、 チェコフィルハーモニーオーケストラ主催によるワークショップ（子供のための音楽特別教室）にて定期的にソロ演奏を行うなど様々な音楽活動を行う。

プラハ、福岡にてソロリサイタルを開催の他、2017 年、2018 年三瀬高原音楽祭オープニングコンサート、2 台ピアノリサイタル等、多数のコンサートに出演。現在、福岡を中心にソロやリサイタル伴奏、オペラコンサートに出演し高い評価を得ている。

◆ KYOKO NAKASHIMA　中嶋 薫子（メゾソプラノ）

聖徳大学大学院音楽文化研究科音楽表現専攻博士前期課程修了。

第 83 回読売新聞社主催新人演奏会に出演。

第 36 回宮崎県独唱独奏コンクールにおいて金賞受賞。

第 24 回宮日音楽コンクールにおいて優秀賞受賞。第 21 回九州音楽コンクールにおいて金賞を受賞。 現在福岡を中心にアミカス（高宮）において毎月開催されているモーニングコンサート＆トークをはじめ 数多くのコンサートに出演。本年は国立音楽大学同調会佐賀支部による「くにたちコンサート」（8 月）や福岡国際オペラフェスティヴァル主催「オペラガラコンサート 2020」、福岡音楽大学設立の会主催「 バリアフリー Xmas コンサート」、来年は福岡国際オペラフェスティヴァル 2021「ヴェルディの夕べ」に出演予定。

豊かな声と格調高い音楽性と広い音域で、メゾソプラノからドラマティックなソプラノのレパートリーまで演奏することができる数少ない逸材として、これからの活躍が期待される新進気鋭のメゾソプラノ歌手。福岡国際オペラフェスティヴァルソリスト。

◆ KOH MATSUO　松尾　興（バリトン）

国立音楽大学声楽科卒業。ザルツブルク・モーツアルテウム、 イタリア・ジェノヴァにて研鑽を積む。西日本新人紹介演奏会本選「福岡音楽文化協会賞」（声楽部門最高位）、国際コンクール下関「審査委員長賞」（東敦子）、飯塚新人音楽コンクール入賞、ザルツブルク・モーツアルテウム国際声楽コンクールファイナリスト。オペラでは歌劇「真間の手古奈」行麿、「フィガロの結婚」伯爵、「海の子守歌」老人、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールをはじめ、東京・名古屋・広島・福岡・長崎にてオペラハイライト歌劇「オテロ」ヤーゴ、「椿姫」ジェルモン、「トロヴァトーレ」ルナ伯爵、「カルメン」エスカミーリョ、「フィガロの結婚」タイトルロール、「リゴレット」タイトルロール、「トスカ」スカルピアを演じた。‘96 サルザーナ歌劇場（伊）にて歌劇「リゴレット」タイトルロールでイタリアデビュー。その後、サルザーナのテアトロインパヴィディ、ポルトフィーノのテアトロコムナーレをはじめ、サンタ・マルゲリータ・リグレ、アルベンガ国際音楽祭、インペリア等、イタリア各地で出演。また、ベートーヴェン「交響曲第九番」、ヘンデル「メサイヤ」、バッハ「カンタータ」、モーツアルト「戴冠ミサ」等、各地の交響楽団と共演。リサイタル・ジョイントリサイタルは 40 回を超える。福岡音楽大学設立の会副会長、福岡国際オペラフェスティヴァル代表、三瀬高原音楽祭音楽監督。

◆ KASUGA SYMPHONY ORCHESTRA　春日交響楽団（シンフォニーオーケストラ）

春日交響楽団は、市民とともに春日市の音楽文化向上に寄与することを目的として 1994 年に発足。プロ音楽家の指導を受けながら、主催演奏活動、市および他団体との共演、音楽鑑賞教室など幅広い演奏活動を展開。年一回の定期演奏会（6 月）では、メインの交響曲演奏に加えて、ピアノ・ヴァイオリン・チェロ・ホルンなど国内外で活躍するソリストと協演し、聴衆の喝采を浴びている。クリスマスコンサート（12 月）では、一般市民から合唱団員を募集してベートーヴェンの交響曲「第九」をはじめ、モーツァルトのミサ曲の合同演奏、著名な歌手を招聘してのオペラアリアコンサートなどを開催し、地域に親しまれている。約 60 名の団員は学生から社会人まで幅広く、老若男女のハーモニーで更なる飛躍を目指している。